



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

ロータリーは
機会の扉を開く

令和3年3月22日(月) 第22回 通算第1586回例会

会長 黒澤 信之
幹事 佐藤 慶行

クラブ奉仕委員会
委員長

高橋 智弘

会報・雑誌・広報・
IT小委員会委員長

根本 いずみ

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第22回例会 点鐘12:30

◇開会点鐘 黒澤 信之 会長

◇ロータリーソング「それでこそロータリー」
ソングリーダー 高橋 智弘 会員



◇会長あいさつ 黒澤 信之 会長



皆さんこんにちは。

先週土曜日、また大きな地震がありました。福島市内は震度4～5弱程度の揺れに見舞われましたが身近なところで被害の拡大や新たな被害はありませんでしたでしょうか。

今回の一連の地震は、10年前の大震災の余震といわれています。震災当時、10年程度の余震活動があると予測されていましたがこうして現実になるとは正直思ってもいませんでした。

報道によりますと宮城県内では津波注意報が発令されました。震災を教訓に多くの方が避難行動を起こしたものの、車での避難が集中し、避難場所へ向かう道路があちらこちらで渋滞したそうです。幸い津波注意報はまもなく解除され被害はなかったものの渋滞の列に津波が押し寄せたらと思うと背筋の凍る思いがしました。避難行動を起こす際の手段方法についても、日頃から想定しておくことが重要だと思いました。

皆さんも想像してみてください。運転時、歩行時、

在宅時、就寝時など、それぞれの場面において、もし、今ぐらっと来たら何が危ないか、どう動けば助かるか、ぜひ危険予知してみることをお勧めします。

三月も彼岸をすぎ、あちらこちらから桜の開花の便りが聞こえてくる季節となってまいりましたが、一方、コロナの便りも途絶えそうにありません。せっかく首都圏での緊急事態宣言が解除されたと思ったら、お隣の宮城県での発令がなされました。福島県でも病床使用率は50%を超えステージ4の水準となっていますから全く対岸の火事ではありません。自粛疲れなどと言いつつ、慎重な行動と予防の徹底を継続されますよう皆様をお願いいたします。

2020-21年度も残り三か月余りとなってまいったわけですが、本日は本年度22回目、通算1,586回例会にあたり、年次計画によると今年度の例会は、残すところ、あと10回の予定です。順調に開催しても、年度当初にお話しした通算1600回目のメモリアル例会は次年度、高橋智弘年度に持ち越しとなってしまいました。今年度の会長としてメモリアル例会を開催できないのは非常に残念な想いですが、本日のプログラムは、先日PETSセミナーを受講された高橋智弘会長エレクトによるPETS報告であります。25分という限られた時間で皆さんに思いを伝えるには時間が足りないかもしれませんが、決意も新たに、次年度への意気込みなどもお話しいただけるものと期待しております。

会員の皆様におかれましても、次年度の活動原点となる会長エレクトのPETS報告に注意傾聴くださいますようお願いいたします。会長挨拶といたします。

本日もよろしくお祈りいたします。

◇退会あいさつ

日産プリンス福島販売(株)代表取締役社長

長 島 健 博 会員

4月より名古屋へご栄転されることとなりました。



◇幹事報告

佐藤 慶行幹事



○例会変更のお知らせ

・当クラブ次週29日(月)の例会は、午後6時30分よりエルティにて懇親夜間例会となっております。

○その他のお知らせ

・3月27日(土)午後2時より福島ロータリークラブ創立70周年記念大会が開催されます。当クラブからは相澤隆直前会長、佐藤慶行幹事が出席されます。

・5月8日(土)午後9時よりロータリーリーダーシップ研究会(RLI)が開催されます。今回は第3期となりまして、参加をご希望される方は全員出席が可能です。ご受講希望の方は事務局までお知らせください。詳細はポストに配布されておりますご案内をご確認ください。

・3月ロータリーレートは1ドル106円となりますのでお知らせ致します。

委員会報告

◇出席・スマイリングBOX小委員会 高橋 智 弘委員

○黒澤信之会=先日、長男が無事中学校を卒業し、志望の高校に合格することができました。

○長島健博会員=4月から名古屋に転勤となりました。参加度低かったですが長い間お世話になりました。後任は、40代前半の若手社長です。

○宮崎秀剛会員=本日も宜しくお願ひします。下の子も高校に無事合格しました。

○久米允彦会員=会長、宮崎さん、小沢さん、受験生の親として一安心ですね。おめでとうございます。

○寺島英樹会員=マイ、ハッピーバースデー。

○根本いずみ会員=この度、人事異動により東邦銀行西福島支店を転出することとなりました。楽しみにしていた桜の花は、皆様とのお別れの春となってしまいました。短い間でしたが、本当に楽しい時間でした。ロータリアンとしての志は忘れません。ありがとうございました。

—————PETS報告によせて—————

○高橋智弘会員 ○大平謹一郎会員 ○佐藤卓立会員
○佐藤宗弘会員 ○高梨哲男会員 ○相澤 隆会員
○佐藤慶行幹事 ○野尻榮一会員

本日のスマイリングBOX集計14件 39,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム—————PETS報告

高橋 智 弘会員

会長エレクト研修セミナーについてご報告させていただきます。今年も昨年同様コロナ禍での開催と

なりましたので、まずは事前にMy ROTARYのラーニングセンター「クラブ会長の基本」を受講し修了証をいただきました。そして去る3月13日(土)にオンラインで半日のセミナー開催となりました。前半は2530地区(福島)、2560地区(新潟)、2630地区(岐阜三重)、2660地区(大阪北部)、2700地区(福岡長崎佐賀)、2780地区(神奈川)の6地区合同でのZOOM開催となりました。シェカール・メータRI会長エレクトの新年度に向けたメッセージがあり、英語のスピーチでしたので理解できませんでしたが、ある程度は志賀利彦ガバナーエレクトの講義の内容とのものでした。その後、6地区の各一名の会長エレクトが、会員増強と奉仕活動についての発表がありました。

後半は2530地区だけの会議に戻り、まず、国際ロータリー第2530地区志賀利彦ガバナーエレクトから「2021-22年度RIテーマと地区運営方針・活動目標」について講義を受けました。国際ロータリーのシェカール・メータRI会長エレクトが打ち出したRIテーマは、「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」であります。シェカール・メータRI会長エレクトは、「もっと行動しもっと成長する」「もっと行動し」はより大きくインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを意味し、「もっと成長する」は会員を増やし参加者基盤を広げることを意味します。会員増強は「みんなが一人を入会させよう」そして多様性のある会員増強として、若い人や女性をクラブに迎え入れましょう。「ほかの人のために生き、世話をし、奉仕することで誰かの人生を豊かにすることは、自分の人生の最高の生き方です。」と述べております。世界的に有名なアインシュタインも「誰かのために生きてこそ、人生には価値がある」と述べていることを引用しています。また次年度の焦点は女子のエンパワメントで、エンパワメントとは人権を尊重しお互いの多様性を認め能力を引出し権限を与えると訳されます。世界各地で女子が直面している多くの問題にロータリーが取組み、それを和らげようと掲げています。会長エレクトのテーマとして「もっと行動し もっと成長する」と述べており、そのための計画として2つ掲げています。一つ目は会長主催会議で、7つの重点分野に焦点を当てた7回の会長主催会議を世界各地で開催する。7つとは

1. 平和構築と紛争予防
2. 疾病予防と治療

- 3.水と衛生
- 4.母子の健康
- 5.基本的教育と識字率向上
- 6.地域社会の経済発展
- 7.環境の保全

とのことでした。2つ目はロータリー奉仕デーです。全クラブが参加して「ロータリー奉仕デー」を通じてロータリーの活動を世界に紹介することです。2021-22年度に少なくとも1回、実践的かつ行動志向のロータリー奉仕デーのイベントを計画・開催していただくよう、すべてのクラブにお願いしたい。このイベントはロータリー重点分野の一つ以上に該当する地域社会の課題に、ロータリー内外のボランティアと一緒に取り組めるものとする必要があります。このイベントは、職業やロータリーとの関係にかかわらず、地域の家族や協力団体とともに有意義な奉仕に取り組む機会となります。皆さんの意義ある行動を、地域社会の人々に広く知ってもらい。ロータリー奉仕デーのイベントとして認められるには、次の条件4つを満たす必要があります。

- 1.二つ以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブによって計画する。
- 2.ロータリーの重点分野に一致している。
- 3.イベントへの関心を高めるため少なくとも一つのメディア(フェイスブック、ツイッター、地元紙)で周知を行う。
- 4.参加者の少なくとも25%は、現ロータリーではない。

またポリオ根絶活動、新型コロナウイルスとの闘い、大きなインパクトをもたらすプロジェクトへの取り組み、会員数を史上初めて130万人にするという課題にも取り組んでいく。そして最後にシェカール・メータRI会長エレクトから「授けられた最大の贈り物は誰かの人生に触れる力、変える力、違いをもたらす力、めぐりゆく命の中で手を、心を、魂を差し伸べるなら魔法が起こる、歯車が回りだす、ともに歯車を回そう。全人類の繁栄のために私たちに力と魔法がある。奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というメッセージが報告されました。

次に地区運営方針として

- 1.RIテーマを理解し、もっと行動し、もっと成長しよう
- 2.会員を増やし、参加者基盤を拡げよう
- 3.クラブ例会を楽しく。会員ひとりひとりがクラブ内での役割を担おう
- 4.ロータリーの新しい重点分野「環境保全」を推進しよう
- 5.ロータリー奉仕デーを通じて、ロータリー活動を紹介し、公共イメージを向上させよう
- 6.ローターアクト、インターアクト、学友との連携を深めよう

- 7.全クラブがロータリー賞にチャレンジしよう
- 8.ロータリー財団への理解を深め、DDFを活用しよう
- 9.米山記念奨学会への理解を深め、協力しよう
- 10.RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)の地区組織を強化し、参加者を増やそう
- 11.オンライン会合を支援し、地区のIT化をより進めよう

この11項目を示しています。また2021-22年度地区活動目標として、

- 1.会員増強(みんなが一人を入会させよう)
- 2.ロータリー奉仕デー(分区単位での取組みを推奨)
- 3.ロータリー賞への挑戦
- 4.ローターアクト、インターアクト、学友との連携
- 5.ロータリー財団への理解と地区財団活動資金の活用(年次基金一人150ドル、ポリオ根絶一人30ドル、ベネファクター各クラブ1名)
- 6.米山記念奨学会への協力(普通寄付一人5,000円、特別寄付一人10,000円、世話クラブ、カウンセラーとして参加)
- 7.RLI(ロータリー・リーダーシップ研究会)への参加者を増やす
- 8.会合のオンライン化を支援する

この8項目が活動目標としてガバナーエレクトより示されました。

続きまして、石黒秀司ガバナーから、「地区の管理と運営」と題して講義を受けました。

まず状況認識として、直近3年間の国内の会員数を見てみると、2017-18年度は、34地区の内、増加した地区が19地区で+518人、減少した地区が13地区で-367人、増減0が2地区、1地区平均4.4人増、2018-19年度は増加した地区が11地区で+277人、減少した地区が23地区で-544人、1地区平均-7.5人、2019-20年度はコロナ禍ということもあり、増加した地区が2地区、減少した地区が32地区で-2332人、1地区平均-67.3人となっています。しかし私たちはこういう時だからこそ、「もう一度ロータリーのすばらしさを再認識しましょう」ということで、基本的にはそもそもの部分をしっかり押さえ、理解し、実践することが「地区の管理と運営」に繋がり、それぞれの役目の遂行に繋がると確信している。またそれぞれの任務を考えた時には、ロータリーとは？RIの目指すもの？を胸にしっかり刻むことが、大変に重点になるので、ここで、確認していきたい。とのことでした。まずはロータリーとは？に立ち返り、ロータリーの定義、ロータリーの目的、ロータリアンの行動規範について、もう一度再認識すべきである。この中で、ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の4項を奨励する。

- 1.知り合いを広めることによって奉仕の機会と

すること

2. 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
3. ロータリアン一人一人が、個人として、また、事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
4. 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

この「ロータリーの目的」をもう一度熟読玩味してみましょうと説明を受けました。

続けて、平井義郎地区研修リーダーによる「クラブ管理と会長の責務」についての講義でした。ここは私にとって一番重要な部分です。目的達成のためには、目標を持つということ。目標とは目的を達成するためのステップであり、目的を達成するために目指すべき行動やその道筋を示したものが目標である。目的がないのに目標だけがあることはあり得ない。目的があってこそ目標とするものが得られる。ここでも先ほど石黒ガバナーが言われていたロータリーの目的が大事だと言うことだと思います。「目標を立ててクラブ会員全員で前に進もう」という事だと思います。そこでまず一番大事なのは、通常の例会だと考えます。

この例会で実践する項目が色々ありましたが、私実践していきたい項目を抜粋させていただきます。

1. 会員が地元社会をより良くするためのアイデアを紹介しあえる時間を設ける。
2. ゲストスピーカーを招くのではなく、会員に自身の体験を話してもらう。
3. 毎回違ったテーマを設定する。
4. 例会の前半はロータリー業務の話し合いに充て、後半は楽しむことを目的とした内容とする。
5. クラブのプロジェクトに関連した業界の専門家を入会見込者として招き、卓話をしてもらう。
6. 会員が楽しめ、過去1年間の業績を振り返ることができる機会を年に一度クラブで設ける。
7. 親睦のため月一回程度例会場の変更や夜間に会合を開く。
8. 年間を通じて家族やローターアクトなどが参加できるイベントや外出行事を企画する。
9. 各会員の重要な記念日やその他の特別な機会

を祝う。

また、例会以外で奉仕プロジェクトにおいては、他団体と協力して活動範囲を広げ、会員が心から関心が持てる活動に参加できるようにする。定期的に奉仕活動の機会をつくり、活動後の例会で体験を語り合う。そして比較的新しい会員に奉仕プロジェクトの立案をしてもらいベテラン会員が支援を提供する。これらのことをクラブ運営委員会、クラブ協議会で話し合うことでクラブが前に進んでいくことだと、私は平井地区研修リーダーの講義を聞いて解釈しました。また、目標達成のためのクラブ運営には、会員がロータリーに参加しているという気持ちを作ることと、会員が参加する機会を多く作ることで参加する喜びを持ってもらうことが大事である。ロータリーでは、秘密を作らない、皆に等しく声を掛ける、他人の悪口を言わない、皆が参加できるように計らう、ロータリーにNOはない。この5つの項目も守るとのことです。

最後に芳賀裕次期地区研修リーダーから、「地区研修委員会の方針と計画」について講義があり、クラブ会長としてクラブ研修リーダーと包括的研修計画を立案し、3年未満の会員には定期的オリエンテーションを実施する。また全会員には、継続的教育機会と指導力育成プログラムの提供を行うことが重要である。福島西ロータリークラブにおいても、正式にクラブ研修リーダーを置き、定期的に教育プログラムを開催する必要があると認識しました。これからの約3か月の間にクラブ会長の役割をよく理解し、実践に備えてくださいと説明を受けました。

以上、DVDと3/13日のPETSでの研修の報告でした。次期年度まで残り約3か月ですが、会長の役割と重要性をできるだけ理解し、7月に向けて頑張ってもらいますので、会員の皆様、事務局それぞれのお力をお貸しいただきたい。よろしくお願いたします。

ご清聴ありがとうございました。

◇閉会点鐘 黒澤信之会長
※会報カメラ担当 根本いずみ会員



●他RC例会場・例会日

クラブ名	曜日	例会場名	クラブ名	曜日	例会場名
福島RC	木曜日	クーラクーリアンテサンパレス	飯坂RC	木曜日	吉川屋
福島南RC	水曜日	クーラクーリアンテサンパレス	福島北RC	火曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島中央RC	水曜日	ザ・セレクトン福島	福島東RC	金曜日	クーラクーリアンテサンパレス
福島21RC	木曜日 18:30~	クーラクーリアンテサンパレス	福島しんたつRC	月曜日 18:30~	福島県青少年会館